

平成 30 年度第 3 回あしや子ども笑顔ネット会議

日 時：平成 30 年 10 月 23 日（火）15 時～17 時

場 所：リードあしや 会議室D

出席者：朝倉己作（(特活)芦屋市手をつなぐ育成会）宇佐見裕子（精道小学校 smile
ねっと）金木友子（精道中学校学校支援ボランティアコーディネーター）
小泉星児（芦屋市商工会青年部）辻本久夫（こくさいひろば芦屋）
長城紀道（芦屋法律事務所）宮平太・研修生（芦屋市社会福祉協議会）
奈良雅美（(特活)あしやNPOセンター）
芦屋市企画部市民参画課 飯星課員
芦屋市立あしや市民活動センター 橋野

前回の課題として、「子ども食堂、地域食堂、学習支援、表にでていないもの、地域に密着している小さな活動を集める。」から以下の資料を提供した。

- ・あおぞら子ども食堂フライヤー（ボランティア募集、10 月 11 月広報）
- ・あしやつどい場ガイド 2018「今度はここに行ってみる？」

1 フライパン主催「あおぞら子ども食堂」動画と説明

《説明・概要》

- ・2018 年 8 月に第 1 回目を開催 どなたでも参加可能な「食育」イベント
- ・10 月からは月 1 回程度開催予定
- ・ボランティア呼びかけはネットで行い、学生からシニアまで参加している。
- ・食は無農薬など安全性にこだわり、調理する団体、個人の協力を得ている。
- ・本年度は「平成 30 年度地域祖父母モデル事業」助成金から成り立っている。

《意見交換》

- ・取り組みがいい。笑顔ネットが協力できる部分もあるのではないか。
- ・夏、冬など天候の悪い時は、リードあしやを利用することは可能。
- ・無料で食を提供し、ボランティア謝金を払っているが、財政的に苦しくなるのでは？

2 日本世代間交流学会報告（小泉氏 金木氏）

《説明》※添付資料「日本世代間交流学会第 9 回大会ワークショップ」報告書参照

- ・10 月 6 日（金）武庫川女子大教育館でのワークショップに参画。
- ・芦屋市の団体が 80%であり、ほぼ「芦屋 777 プロジェクト」参加団体であった。
- ・研究者である学会参加者から質問を受け、熱心に聞いてもらった。
- ・企画者である山田先生からは、初めての試みではあったが、大変好評であったと感謝された。
- ・MLの活性化を意識

《意見交換》

- ・1年2カ月ぶりに芦屋777プロジェクト参加者と顔を合わせ、つながっていくことの大切さを再確認した。声かけあうだけでも良いと感じた。
- ・共通の課題を見つけやすい。
- ・シンボリック的なものを継続することは大切。
- ・芦屋市は近隣の市よりも「だんじり」が多い。(6～7基) これらが一堂に会する機会を設けるといのはいかがか。→5月1日年号が変わるのをきっかけにパレードをすると聞いている。
- ・兵庫県自治学会(人と未来防災センター)が毎年10月に開催。ここで発表すれば拡散される。
- ・芦屋市には興味深い人材が豊富である。人材バンク的なものをつくってはどうか。カテゴリを考え、エキスパートに缶バッチを渡すなど考えてはいかがか。

4 次回議題

芦屋の人材、人材を動かす仕組みをそれぞれ考えてくる。

3 次回の会議日程 平成31年1月21日(月)16時～18時 会議室C